

平成 30 年度 第 2 回 磐田市遠江国分寺跡整備委員会 議事要録

1. 開催日時 平成 31 年 2 月 8 日(金) 15:30～17:00
2. 開催場所 磐田市役所西庁舎 3 階 特別会議室
3. 出席者
 - (1) 専門委員：上原真人委員長、山下晃副委員長、石上英一委員、中島義晴委員、平野吾郎委員
(箱崎和久委員は欠席)
 - (2) 整備委員：草地博昭委員、虫生時彦委員、澤元教哲委員、小杉達委員、星野勝彦委員、
林浩巳委員
 - (3) 助 言：静岡県教育委員会文化財保護課 主査 山田啓子
 - (4) 磐 田 市：村松啓至教育委員会教育長
 - (5) 事 務 局：秋野教育部長、高梨課長、村松課長補佐、竹内主幹、大村副主任、安藤囑託
 - (6) 実施設計委託業者：㈱フジヤマ：渥美、中村、鈴木(加)、竹内(涼)
 - (7) 傍聴者：なし

4. 会議要旨

- (1) 開会
- (2) 磐田市教育長あいさつ
- (3) 静岡県教育委員会あいさつ
- (4) 整備委員会委員長あいさつ
- (5) 議事

[1] 平成 30 年度の遠江国分寺跡整備事業について（事務局説明）

- ・平成 30 年度事業のうち、第 1 回の整備委員会で説明していない事業について説明した。
樹木整理を中心とした委員（見付・中泉地区長）への現地での説明、文化庁との協議、整備についての近隣の学校（小学校・中学校・高校）との懇談、発掘調査成果について

[2] 平成 31 年度の遠江国分寺跡整備事業予定について（事務局説明）

- ・再整備の実施設計（講堂・僧房周辺）、基壇周辺の樹木整理、指定地内の国有地の取得、追加指定、土地の追加指定・買上げ要望、指定地の買上げ（現国分寺の一部）、委員会の開催、文化庁との協議、社会科副読本（『遠江国分寺』）の配布、国分寺まつり（11 月）への参加などについて説明した。

<質疑応答、意見>

委員 この委員会はいつまで続くのか？

事務局 整備工事に入るのが最短で平成 32 年度から 3 年かかり、国庫補助金の関係で後ろにずれる可能性もある。基壇を造るのも事務局だけでは大変だと思っている。

委員 平成 31 年度は整備のための試掘はないのか？

事務局 国庫補助事業としてはないが、必要があれば市の単費で対応する。

委員 追加指定の要望地について説明してほしい。

事務局 個人所有の土地2箇所について買い上げてほしい、という要望がある。

委員 現国分寺の建物の移動に関連して、現国分寺の文献調査なども行うのか？

事務局 検討させていただきたい。文化財保護審議会でも検討させていただく機会があると思う。

[3] 学校との懇談について（事務局説明）

- ・国分寺を学区とする中部小学校（教員）と第一中学校（教員）、磐田南高校（生徒7名、教育長参加）、磐田農業高校（先生と生徒6名）との懇談について報告した。南高校からは「夜は暗くておっかない公園というイメージ」があり、街灯やトイレ、歩くルートなどについて意見があったこと、農業高校からは樹木の剪定をきちんとしてほしいという意見があった。また、AR・VRについては非常に興味がある、という意見があったことなどを報告した。

<質疑応答、意見>

委員 AR・VRは生徒が作りたい、ということか？

事務局 そうではない。VRで国分寺を再現したらどうか、ということである。

[4] 整備内容について（資料7～10）

①基壇復元について（事務局説明）

- ・基壇復元のうち、塼の敷き方と葛板や束柱の構築方法について、専門委員会での検討内容を報告した。

<質疑応答、意見>

委員 葛板に「反り止め」（板が反らないようする造作）というのは入れなくてよいのか？

事務局 箱崎委員に問い合わせることとしたい。

②燈籠復元について（事務局説明）

- ・国分寺整備で、モニュメントとして一番高さが高いものになる。専門委員会では復元案について、火袋がもう少し大きいほうがよい、ということであった。また、いくつかの復元案が必要という意見もあった、澤元委員に相談にのってもらうようお願いしたい。

<質疑応答、意見>

委員 屋根を板葺きにすると腐ると思う。こけら葺きだと30年くらいはもつ。

事務局 屋根の「てりむくり」についても議論をしている。

委員 「てりむくり」は厚い板でできると思う。燈籠が大きくなってもできると思う。

委員 燈籠は移動式か？

事務局 燈籠は材料を何で作るかは決まっていない。今は本来はどう作っていたのかを検討している。一回は木で作る必要がある。取り外しを前提にすると、軽い材料で作ることになる。

委員 高さが3mくらいになる、ということだが、いたずらする人がいるかもしれないので、考えておいてほしい。

③照明について（事務局説明）

- ・文化庁との協議で、トイレ兼展示スペースや四阿などの位置は了解が得られた。照明につ

いても、前回の整備委員会ででた要望が認められた。基壇をスポットライトで照らすのはやめ、高さ4.5m程度の照明とフットライトを配置する。

<質疑応答、意見>

委員 公園の北側の出入口付近は、歩道がなかったり、通り抜けできないようになっているが。

事務局 盛土計画を検討して、道路とスムーズに行き来できるような形を考えていきたい。

委員 指定地を市道やその歩道にすることはできないが、公園として通りやすくすることは可能だと思う。

委員 トイレについては、女性用を多くしてほしい。

事務局 検討したい。

④樹木整理について（事務局説明）

・前回の委員会で、必ず切らなければいけない木と、この委員会で検討しなければいけない木とを全て混ぜて説明したが、遺構に関する木や整備計画影響を与える木は外して、この委員会で検討する木は294本と考えている。先日、地元の地区長の委員に公園を歩いていただき、その意見を基に整理案を作成した。

<質疑応答、意見>

委員 公園内には結構傷んでいてこれからの強風などで倒れる可能性がある木が多い。また、木が多すぎて暗く、見えない。大きい木と劣化した木はこの際切ったほうがよい。

委員 防犯の点からも子どもの背の高さより高い木は切らなければいけない。ここら辺は残しておきましょう、というと10年後、20年後にものすごいお金がかかる。

委員 記念樹などは、別の公園に接木をして植えるか、それに近い木を植えるほうがよい。

(6) 閉会